

公民科（公共）学習指導案

令和〇年〇月〇日
埼玉県立大宮東高等学校
教諭 齊藤 龍馬

1 単元名： 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化

2 単元について

（１）教材観（学習単元の概要）

2025年に団塊の世代が後期高齢者になり、社会保障費は今後ますます増えていくことが予想されている。しかし、日本の人口は減少しており、今後、現役世代・若者への負担は益々増えていくことが想像される。高齢者は、これまで社会保障費を納めてきたのだから今度は自分たちには受け取る番だとその権利があると主張するが、若年層は自分たちが高齢者になったとき、年金制度が持続しているか不安がある。それゆえ、社会保障の議論の中心は世代間の対立になりがちになる。しかし、社会保障を必要とする人は、高齢者以外にも沢山おり、費用の配分は単純にはいかない点が難しい。

令和元（2019）年10月、これまで延期されていた消費税の増税が始まった。税率が上がることは誰しもが知っているが、税率が引き上げられる理由については理解が乏しい。そこで、そもそもなぜ増税が必要か、増税分は何に使われるのか、背景を含めて社会保障について学習する。そして、この現状について、自分に何ができるのかを考える契機となるようにする。

（２）生徒観（学習状況の実態）

政治経済は3年生全員が履修する。生徒は大学・短大への進学が約5割強、専門学校が約3割強、就職1割強で、進学者の大半は一般受験ではなく、推薦・AO入試を利用し進学する。生徒の半数以上がある程度進路を決めており、単なる知識・理解を目的とした授業への意欲は高いとはいえない。その一方で、活動を主体とした授業には積極的で、何かしらの自分の意見を言おうとする。実際、毎時間の授業で短い時間でも生徒が話す時間を設けたところ、多くの生徒は自らの意見を生き生きと話す姿を目にするようになった。現在試行錯誤しながらも、生徒の主体性をより生かせるような授業づくりを考えている。

（３）指導観（学習の手立て）

生徒たちは既有知識のなかで授業が進むことを期待し、新たな知識を取り入れ、それを活用して学習することを苦手とする傾向が見られる。同様に、自らが体験・経験したことは理解できるが、他者の置かれている状況について想像を働かすことも苦手である。しかし、生徒たちは優しい心を持っており、きっかけがあれば、他者の心情に共感できる。前述の生徒観に記載した内容とあわせ、生徒の活動を中心に据えながら、新しい内容を知識ではない形で理解させるため、知識構成型シグソー法のスタイルを活用し、生徒に考えさせるようにする。

3 単元の目標及び評価規準

（１）単元の目標

社会保障が、現代社会のセーフティネットとして存在・機能していることを理解する。弱者を救済するうえで社会保障が必要な仕組みであることに気づき、制度が持続するために、自分に何ができるかを考え行動できるようにする。

（２）単元の評価規準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
・ 社会保障の制度の概要 ・ 社会保障費の出資元	・ 社会保障の対象 ・ 社会保障費の使われ方 ・ 感情論だけではない支援	・ 周囲と協調した議論 ・ 弱者への共感

4 指導計画

時	指 導 内 容 等
1	なぜ少子高齢化が問題か？ 少子化、高齢化が起こる原因を理解するとともに、それらがなぜ問題かを理解する。
2、3	社会保障とは何か？ 消費税 10%が上がる理由が、これから益々不足する社会保障費の財源にあててることを理解するとともに、社会保障の制度概要について理解する。
4 本時	社会保障を受けるべき対象はどこか（ジグソー法による学習） 社会保険（年金）、公的扶助（母子生活支援）、社会福祉（障がい者福祉）の3つの資料を読み込み、社会保障として支援すべき対象について考える。
5	社会保障の現状と課題 これらが憲法25条の生存権に基づいた対応であることを理解するとともに、どのような課題があるか理解する。また、諸外国では社会保障をどのように行っているか理解する。
6	DVD 視聴（社会保障ってなに？） 厚生労働省が作成し、文部科学省が特別選定している上記タイトルの DVD を視聴し、社会保障に関する知識を総整理する。そのうえで、これからの社会保障をどのようにすべきか、今の自分自身に何ができるかを考える。

5 本時の学習

（1）ねらい

- ・社会保障の対象が年金、医療保険、介護保険といった高齢者だけでなく、母子家庭や障がい者もいることを理解する。
- ・支援を必要としている人は多くいる中、どこに社会保障を充実させるべきか考える。

（2）展開

時間	生徒の活動	教師の指導・支援等	資料等
3分	（授業方法への理解）教師の説明を聞き、ジグソー法による授業方法について理解する。	・主体的に授業に参加するよう行動を促す。	
7分	（資料理解）与えられた資料を読み込み、資料に記載された人物を紹介するのに必要な情報を判断し、必要に応じて書き出す。	・情報が不足しているようなものについては、自ら想像して構わないことを伝える。	別紙
5分	（人物紹介）予め資料に記載した番号をもとに3人組をつくる。各人が1分間で自分の資料に記載された人物がどのような人か、紹介する。	・資料の回し読みにならないよう机間巡視する。 ・時間管理に注意する。	別紙
7分	（グループによる検討）資料のもとに、まずは個人で3人の中で充実した社会保障を受けるべきかを考え、その理由を記載する。そのうえで、グループ内でそれぞれの意見をもとに、グループとしての意見をまとめる。	・机間巡視を行い、すぐに結論がでたグループが出た場合には、別の考え方を提示し、議論を深めさせる。	別紙
13分	（発表）各グループよりそれぞれの検討結果と理由を発表し、相互理解を図る、	・結論に偏りがある場合には、違う視点を明示する。	別紙
5分	（感想）授業を受けて思ったこと、感じたことを整理し、自らの学びを深める。	・文章で書かせることを意識させる。	別紙

6 使用資料

清水書院『高等学校新政治・経済 新訂版』

第3篇 現代政治・経済の諸課題 1 人口減少社会と社会保障（P.156～157）

配布資料については別紙資料参照

「社会保障を考える」ワークシート

1) 少子高齢社会について思いつくもの・知っていることを書いてみよう。

--

2) なぜ少子高齢化が起きるのか。その原因と理由を考えてみよう。

原因	理由
例) 不景気	収入が少なく、子どもを育てるための生活費・教育費を出せないから。

3) なぜ少子高齢社会が問題なのか？

理由
例) 子どもの数が少なくなると、学校の統廃合が起こる。家の近くに学校がなくなり不便になるから。

真面目に働いて年金を納めてきたんだから、
私にはもらう権利がある！！

●1956年生まれ（63歳） 福島県出身

●家族構成

- ・妻（60歳、専業主婦）との2人暮らし（持ち家 築33年）
- ・子ども：長女：30歳（専門学校卒、美容師）…結婚
長男：25歳（大学卒、システムエンジニア）…家を離れ独立。

●プロフィール

- ・高校卒業後、就職のため東京に上京。
- ・大手電機メーカー関連会社で定年までエレベーターの保守・点検業を務める。
- ・48歳のとき、仕事上の事故で入院（労災適用）。しかし、それからどこか体の調子が優れず、体を動かし続けるのが苦手。
- ・60歳で定年退職。退職金約1,000万円受け取り、それで住宅ローンを完済。
- ・定年後、シルバー人材センターの紹介派遣で週に3回、駅前で駐輪場管理。
月収約4万円。不足分は退職金とそれまでの貯金を切り崩し、生活。
- ・62歳になり老齢年金を受給（約10万円）。65歳から満額支給（約17万円）
- ・貯金：現在 約600万円 借金なし
- ・そろそろ家の台所・お風呂場などの水回りで修繕工事が必要。

＜Aさんの主張＞・・・真面目に働いて年金を納めてきたから、私にはもらう権利がある！

- ・年金の細かい制度なんて、私は知らない。
- ・退職までに2000万円用意しろなんて、今いわれても、今からではできない。
- ・これまで、年金を欠かさず納めてきた。制度が破たんしそうから、制度を見直すなんて論外だ。
- ・安心して老後を過ごせる社会を作してほしい。

Aさんを紹介するのに、大事だと思う部分を書き出してみよう（箇条書き）。

日本はもっと母子家庭を支援して！！

●1985年生まれ（現在34歳） 静岡県出身

●家族構成

長男：9歳（小学校3年生）

次男：7歳（小学校1年生）

●プロフィール

- ・高校卒業後、語学系の専門学校に進学。卒業後、旅行会社に就職するも、激務に耐えられず、3年で退職。
- ・翌年、かつての職場の同僚と結婚。25歳で長男、27歳のときに次男を出産。
- ・32歳のとき（結婚8年目）、夫が交通事故で死別。
当時、次男が幼稚園に通っていたため、仕事が制限されるなか、自宅近くの介護施設に就職。
- ・現在、子育ての傍らで介護の資格取得のため勉強中。
- ・月収は手取りで約14万円、その他、児童福祉手当（2名分）で約5万円。
貯金は1070万円（独身時代の貯金70万円、夫の死亡保険金1000万円）
- ・学校外での習い事もさせたいし、スポーツもさせたいが、お金の心配もある。まだ親からは提案できない。
- ・子どもの将来のために少しは貯金したいが、そこまで手が回らない。

<Bさんの主張>・・・日本はもっと母子家庭を支援して！

- ・生活保護は受けたくないの、何とか自力で生活している。
- ・しかし、この手取りで生活していくのには限界がある。
- ・この先、子どもたちにもっとお金がかかると思うが、出せる自身がない。
- ・詳しくは知らないが、外国は母子家庭の支援が厚いと聞く。
- ・政府には、外国の貧しい子に寄付・支援するお金があるが、あるなら日本の将来を担う、国内のこどもたちを応援してほしいと思う。

Bさんを紹介するのに、大事だと思う部分を書き出してみよう（箇条書き）。

俺だって好きで この体で生きているわけじゃない！！

- 1974年生まれ（45歳） 東京都出身
- 家族構成：父親（3年前に死去）、母親（75歳）、実家暮らし。
弟40歳（関西地区で生活、妻子あり、疎遠）
- プロフィール
 - ・生まれながらに心臓に障害があり、運動機能などに障害がある。車椅子に酸素ボンベを載せれば、日常生活は何とかできるが、できないことも多い。ボンベから酸素を吸引しながら毎日過ごしている。
 - ・障害は比較的軽度だったため、小・中・高と特別支援学校で勉強することができた。
 - ・特別支援学校卒業後、パソコンの操作を覚えることができ、就職することができた。
 - ・現在はPC入力の事務作業を行う。月収13万。
 - ・その他、障がい者基礎年金で年間約77万円の収入
 - ・母親が生きているから、母親のために生きているが、たまに生きる意味を考えてしまう。
 - ・貯金は父親が死んだとき、遺産相続を受けた分の残り120万円。

<Cさんの主張>…俺だって好きでこの体で生きているわけじゃない。

- ・親も、障がい者として生んでしまったことに対し罪悪感をもっている。だから、親を責めることはできない。
- ・パラリンピックで活躍するような、スポットライトを浴びる障がい者はごく一部。他の人たちは、発言すら聞いてもらえない。
- ・私はそれでも、酸素ボンベを携帯すればどうにか事務作業はできるから、仕事に就くことができた。
- ・しかし、障がい者だから仕事があるだけでもマシといって、ちゃんとした賃金を払ってくれないところも多い。
- ・俺たちだって健康で文化的な生活をする権利がある。

Cさんを紹介するのに、大事だと思う部分を書き出してみよう（箇条書き）

社会保障を考える。ワークシート2

- ① 3人のなかで、充実した社会保障を受けるべき対象なのは誰か。

あなたの意見： _____ さん

【理由】

- ② グループの意見： _____ さん

【理由】

- ③ 感想

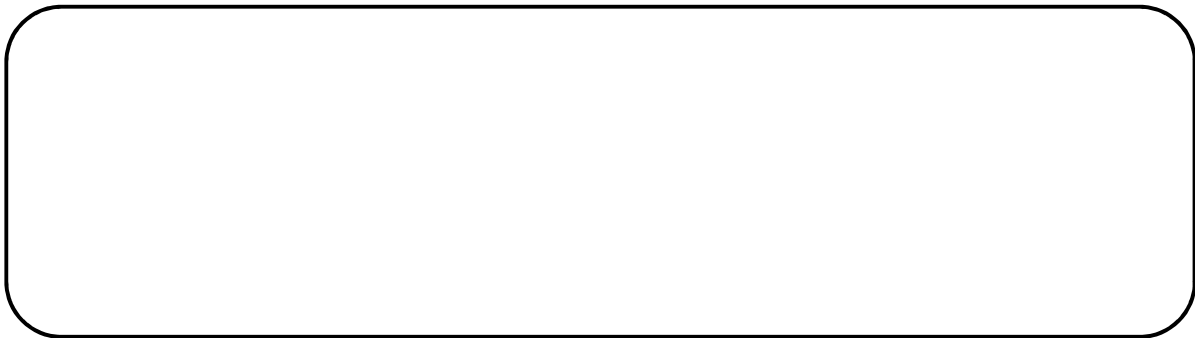
組 番 氏名

社会保障を考えるワークシート3

1) 少子高齢化は今後ますます進展していきます。しかし、社会保障費にかけられるお金（財源）は限られています。

そのようななか、日本は今後、北欧型のように消費税をさらに高くし、全員が充実した社会保障をうけるべきか、あるいは大陸型のように社会保険として払った割合に応じて保障を受けるべきか、あるいはアメリカ型のように健康な人の保障はすべて個人の責任とすべきでしょうか？

理由とともに記載しなさい。



2) 私たちにも医療保険など、金額は少くないものの社会保障の支給を受けています。今後、ますます社会保障がかかるなか、今の自分にできることにどのような事があるか。

理由とともに記載しなさい。



3 年 組 番氏名 _____